

提出2009年3月23日

会合議事録

研究会名：原子分子内殻励起研究会および軟X線利用技術研究会

日時：2009年3月14日 14:00-3月15日12:00

場所：放射光普及棟・中講堂

出席者：（議事録記載者に下線）（敬称略） 上田潔、岡田和正、下條竜夫、金島岳、齋藤則生、鈴木功、為則雄祐、田林清彦、平谷篤也、福澤宏宣、伊吹紀男、和田真一、石黒英治、長岡伸一、田中健一郎、永谷清信、吉田啓晃、小谷野猪之助、北村英男、田中隆次、奥山雅則、大橋治彦、徳島高、仙波泰徳、大浦正樹

計25名

議題：BL27SUの10年間の成果と今後の活動について

議事内容：2009年にBL27SUが共用10周年を迎えるため、この10年を振り返り、達成された事、あるいは未だ達成されていない事柄を整理すると共に、BL27SUで得られた成果を総括した。また、今後の研究動向についても議論および意見交換した。

当日のプログラム

3月14日（土）

14:00	（軟X線光化学ビームラインこの10年と今後に向けて）	齋藤則生（産総研）
14:05-14:20	軟X線領域の光源戦略	北村英男（理研）
14:20-14:55	Figure-8 アンジュレータ	田中隆次（理研）
14:55-15:00		和田真一（広島大）
15:00-15:45	化学結合切断の制御に向けた軟X線光化学の夢	田中健一郎（広島大）
15:45-16:00	休憩	
16:00-16:05		金島岳（大阪大）
16:05-16:50	機能性材料薄膜の光励起プロセス	奥山雅則（大阪大）
16:50-16:55		大橋治彦（JASRI）

16:55-17:30 軟X線ビームラインの計画と分光器 石黒英治
17:30-17:40 総括（軟X線光化学ビームラインこの10年） 鈴木 功
（高エネ研）
18:00-19:30 懇親会

3月15日（日）

9:00-9:30 軟X線光化学ビームライン -この10年と今後- 為則雄祐（JASRI）
9:30-10:00 水素結合クラスターの内殻励起スペクトルと光誘起過程
田林清彦（広島大）
10:00-10:30 放射光CVDの現状 金島岳（大阪大）
10:30-10:40 休憩
10:40-11:10 表面吸着分子・液体の発光分光実験 徳島高（理研）
11:10-11:30 放射光・FELによる原子・分子の光イオン化 福澤 宏
宣（東北大）
11:30-11:50 試験加速器SCSSを利用したクラスターへのEUV-FEL照射実
験 永谷清信（京都大）
11:50-12:00 総括（今後に向けて） 伊吹紀男（京都大）
12:00-12:10 総括（今後に向けて） 小谷野猪之助